

事務事業評価シート(平成22年度)

(ソフト事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
		こども未来課	越川昌信	橋間正文
		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
青少年健全育成事業		新規	年度	年度
		○ 継続	○ H20以前	○ 未定
事務事業の体系				
計画掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつつむ、あったかいまち	(節) 1 のびのび育とう、育てよう	
	個別計画	(基本計画) 「子育てするならこの町」といえるまちをめざす		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
多可町補導委員会設置要綱		○ ソフト事業	施設の維持管理	
		義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		建設・整備事業	計画などの策定	
見守り、安全巡回パトロール。防犯キャンペーン		補助金の支給	有 ○ 無	
青少年補導委員会の開催		委託	全部委託	一部委託
情報紙の発行、健全育成大会の実施		○ 委託なし(全部直営)		

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象 (働きかける相手・誰が・もの)	受益者 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)
町民	町民	園児・児童・生徒の安全確保を図る

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>				会計名	一般	会計
細目名	青少年育成事業	細目名		細目名		
予算コード	10 6 1 1	予算コード		予算コード		

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	21年度 決算	22年度 実績(見込)	23年度 計画	備考 (全体事業費など)
総コスト			10,781	13,313	11,523	
コストの内訳	直接事業費	千円	4,463	5,661	4,220	
	所属内間接費		370	772	650	
	人件費		5,948	6,880	6,653	
	投入人員	人/年	0.58	0.58	0.56	
	嘱託員		0.65	0.65	0.65	
財源内訳	国・県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	千円	10,781	13,313	11,523	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>							
事務事業を構成する業務		手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	21年度 実績	22年度 見込	23年度 目標
1	青色パトロール	町内パトロールの実施 やキャンペーンを展開する	青色パトロール	回	208	208	250
2	補導委員巡回補導		補導委員夜間等巡回 及び店舗補導等	回	19	34	35
3	青少年補導委員会		委員会数	回	4	4	4
4	情報紙の発行	定期的に発行及び管理 を実施する。	情報紙発行	回	0	1	1
5	健全育成大会の実施	大会の開催	大会数	回	1	1	1

(ソフト事業) (B面)

6 事務事業の実績 <Do③>		事務事業名 [青少年健全育成事業]			
成果指標(意図の数値化)	単位	21年度 実績	22年度 実績(見込)	23 年度 目標	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
青色パトロール、補導巡回等での警察通報件数	件	0	0	0	

7 事務事業の事後評価 <Check>				(ソフト事業)					
チェック項目				該当項目に「○」				担当の把握している課題	
必要性	需要への 対応性	住民ニーズは	○ 高い		高くない		把握なし		
		緊急性は	○ 高い		高くない				
		利用者・対象者数は		増加		減少	○ 横ばい		
		他市町と比較して対象者に見直しの余地は		ない	○ ある		把握なし		
	町の関与 の必要性	民間の事業(サービス)との競合は	○ ない		ある				
		国や県の事業(サービス)との重複は	○ ない		ある				
妥当性	サービス 水準の 妥当性	事業開始時から社会環境の変化は		ない	○ ある				
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は		ない	○ ある				
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は		ない	○ ある		把握なし		
	連携の 可能性	他課で類似の事業は		ない	○ ある				
		他の事業と統合できる可能性は		ない	○ ある		あるが困難		
		民間や他の行政機関と連携できる可能性は		ない	○ ある		あるが困難		
		市民団体・ボランティアなどと協働できる余地は		ない	○ ある		あるが困難		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は		ない	○ ある				
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は		ない	○ ある				
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は		ない	○ ある				
		受益者負担を見直す余地は	○ ない		ある				
有効性	目標の 達成度	成果指標が明らかで	○ ある		ない				
		前年より成果が上がって		いる		いない	○ 横ばい		
	持続の 可能性	継続することによる効果は	○ 高い		高くない				
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて		いる		いない	○ 測定困難		
		事業の休・廃止による住民への影響は		大きい	○ 大きくない				
市場化の 可能性		既に全部委託済		更なる委託化が可能である	○ 委託化の余地があり		委託化は不可能		
	○	市場化テストの導入について検討する余地がある			市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性			1.改善の余地はない			2.改善の余地がややある			
		○	3.改善の余地が多い			4.抜本的な見直しが必要			

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action> 青少年健全育成事業

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など) 安心・安全パトロールについては、人員及び業務時間等を昨年と比べ大きく変更しているため、この一年間は、再度検討する余地がないか良く見極めをしていく。 安心・安全パトロール及び補導委員の夜間巡回パトロールに使用している青パト公用車は現在、乗用車タイプで運用しているが、経費・道路事情を鑑み軽自動車の配備を希望する。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 本年度より効果的なパトロール体制が確立されたと考える。子どもたちの安心・安全を確保するため、実施を継続していく。 健全育成大会は不登校引きこもりに焦点を当てて実施でき、充実した大会となったと考える。									
所管評価		1. 重点的に継続	○	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了	内部評価		4
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか) この事業を継続していく。より経費をおさえる方法がないか、ボランティアできないかを検討していく。									
事業評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	○	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了			
評価委員コメント									
今後とも現状を維持しつつ、さらなる事業改善を図られたい。									